

日本海側のエネルギー資源の開発促進に向けて、海洋エネルギー資源として注目されているメタンハイドレートに関するフォーラムを開催します。

# 日本海海洋資源 フォーラム **in 新潟**

日時

平成31年 **1月31日** (木) 13:00~15:00

会場

**新潟グランドホテル** 3階「悠久の間」  
(新潟市中央区下大川前通)

13:00-13:15 **開会挨拶**

主催者：平井 伸治 鳥取県知事 (会長)  
主催者：花角 英世 新潟県知事 (開催県)  
来賓：青山 繁晴氏 参議院議員 (予定)

13:15-13:40 **促進対話 (国と各府県出席者との意見交換)**

【登壇者 (予定)】  
資源エネルギー庁、平井鳥取県知事、花角新潟県知事、  
青山参議院議員 (オブザーバー)、日本海連合構成府県知事 (代理)

13:50-14:15 **基調講演**

「**メタンハイドレート開発に関する政府の取組**」  
経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油・天然ガス課

14:20-15:00 **特別講演 (予定)**

「**岩船沖油ガス田の開発史からみるプロジェクト価値最大化の取組**」  
日本海洋石油資源開発株

15:00 **閉会**

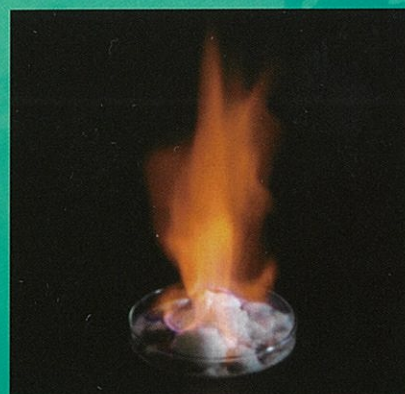
**主催** 海洋エネルギー資源開発促進日本海連合

青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県  
福井県・京都府・兵庫県・鳥取県・島根県・山口県



## メタンハイドレートとは

メタンハイドレートは、低温・高圧の状態では結晶化した水分子の格子の中にメタン分子が入り込んだもので、一見すると、色が白く、触ると冷たい、氷のような物質です。中に入り込んでいるメタンは、発電や都市ガスに使われる天然ガスの主成分で、燃える性質を持っており、1m<sup>3</sup>のメタンハイドレートから、160～170m<sup>3</sup>ものメタンガスが発生します。氷のように見えるメタンハイドレートに火を近づけると、発生したメタンガスが勢いよく燃えることから、メタンハイドレートは「燃える氷」と呼ばれることがあります。



「人工」のメタンハイドレート

出典：メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合(会長：平井鳥取県知事)では、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸12府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合…平成24年9月8日に設立。

(青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・兵庫県・鳥取県・島根県・山口県の12府県で構成。)

公式WEBサイト <http://www.nihonkai rengou.jp/>

### 申し込み方法

- 先着200名様
- 下記①～④を記入し、下記連絡先あてに郵送、FAXまたはE-mailで1月28日(月)までに事前に申し込みください。  
①氏名 ②住所 ③電話番号 ④学校名・会社名
- 件名を『フォーラム申し込み』としてください。  
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

担当：新潟県産業労働観光部 産業振興課  
新エネルギー資源開発室  
郵便番号950-8570 新潟市中央区新光町4番地1  
TEL：025-280-5257 FAX：025-280-5508  
E-mail：ngt050030@pref.niigata.lg.jp

会場

### 新潟グランドホテル 3階「悠久の間」(新潟市中央区下大川前通)



申込書

## 「日本海海洋資源フォーラム in 新潟」申し込み

氏名		電話番号	
住所		学校名 又は 会社名	

宛先:新潟県産業労働観光部 産業振興課 新エネルギー資源開発室 (FAX:025-280-5508)

※参加申込でいただいた個人情報は当フォーラムの目的以外には使用いたしません。